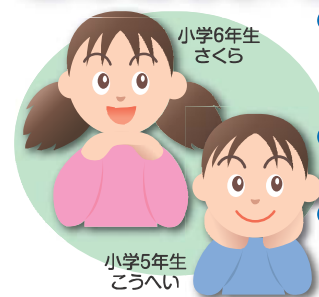
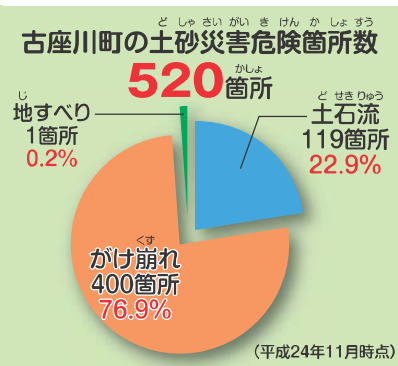


このごろよく聞く土砂災害ってなんですか？



- 土砂災害には「**がけ崩れ**」「**土石流**」「**地すべり**」があります。大雨のときや、地震などにより発生し、とくに梅雨や台風などの時期にはより発生しやすくなります。
- 土砂災害が発生するおそれのある箇所を「**土砂災害危険箇所**」と言い、町内には、**520箇所**あります。
- 平成23年台風12号による災害では、紀伊半島を中心に各地で大規模な土砂災害、河川はん濫等が発生し、多くの尊い人命が失われました。



安全に避難するには

どんなときに避難したら良いのか考えてみましょう



雨が強くなってきたら、まずテレビ・ラジオをつけて積極的に情報を入手しましょう。

- 家族と連絡をとりましょう。
- 非常持ち出し品を確認しましょう。
- がけからはなれた部屋や2階で過ごしましょう。

●役場や消防からの放送が聞こえたら、窓を開けて聞きましょう

「役場より避難勧告をお知らせします。〇〇地区のみなさんはただちに避難してください。避難先は、〇〇です。」

●ひとりで避難するのではなく家族や大人の人と一緒に避難しましょう。

落ち着いて行動しよう!

災害の種類 / 前ぶれ

がけ崩れ

がけの上の家も危険
がけの下の家も危険

＜前ぶれ＞

- がけにひびわれができる
- がけから水がわき出ている
- がけから小石がバラバラと落ちてくる
- わき水がにこる

家のうら山がくずれることなんだ…とつぜん起こるのががけ崩れのとくちょうなのかあ

写真提供:和歌山県砂防課

災害の特徴

＜特徴＞
雨や地震などの影響で、とつぜんがけが崩れ落ちる現象をがけ崩れと言います。とつぜん起きるため、逃げる時間もなくて人が死んでしまったり、家がこわされたりします。

大雨警報
洪水警報

大雨注意報
洪水注意報

雨の状況

土砂災害警戒情報

土石流

谷にたまった土砂が流れ出てくる
家や道路がこわされる

＜前ぶれ＞

- 急に川の流れがにこる、流木がまざっている
- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

谷から土砂や岩が水とまじって流れ出てくるんだね

写真提供:和歌山県砂防課

災害の特徴

＜特徴＞
山や谷の土、砂、岩などが、大雨によって水といっしょになって、ものすごい勢いで谷から流れ出てくる現象を土石流と言います。流れの速さは20~40km/hで一瞬で家などを破壊します。

土砂災害警戒情報

土砂災害危険箇所などの情報
わかやま土砂災害マップ
検索

地すべり

川がせき止められる
家や道路がこわされる

＜前ぶれ＞

- 谷や井戸の水がにこる
- 地面がひび割れたりへこんだりしている
- 斜面から水がふき出す
- 木がかたむく

うごきはゆっくりだけど地すべりが発生すると大きな災害になるんだね

地すべりによってせき止められた川の水がいき流れれてくると、こわいね

災害の特徴

＜特徴＞
斜面の一部または全部がゆっくりすべり落ちる現象を地すべりと言います。動き始めは、1日に数ミリ程度と目に見えないほどの動き方をしますが、とつぜんスルスルと数メートルも動くことがあります。

避難する時の心得

土砂災害から身を守るために知っておきたい3つのポイント

- ① 住んでいる場所が「**土砂災害危険箇所**」かどうか確認する
土砂災害ハザードマップやインターネットで自宅、学校付近の「土砂災害危険箇所」を確認しましょう。
- ② 雨が降り出したら「**土砂災害警戒情報**」に注意する
土砂災害警戒情報はテレビやラジオの気象情報で発表されるほか、和歌山地方気象台や和歌山県砂防課などのホームページで確認できます。なお、役場からも防災無線で放送します。
- ③ 「**土砂災害警戒情報**」が発表されたら早めに避難する
土砂災害警戒情報が発表されたら、早めに近くの避難場所など、安全な場所に避難しましょう。



避難するときの心得

- 避難ワンポイント <危ない?と感じたらすぐ避難!>
 - ・周辺の変化に気を配り、雨の降り方や浸水の状況に注意し危ないと感じたら自主的に避難しましょう。
 - ・ひとりで避難することは大変危険。避難はふたり以上で!
 - ・夜の避難は大変危険。川・道路わきの水路・がけから出来るだけはなれて避難を!
 - ・土石流に背を向けて逃げると巻き込まれます。谷から直角方向に逃げましょう!
- 避難場所への避難が困難な場合は…
 - ・鉄筋コンクリートなどのがんじょうな建物の2階以上で、がけとは反対側の部屋へ避難しましょう。



日ごろから、家族、先生や友達と実際の避難について調べておこう
身を守るのは「**自然災害を知ること**」と「**早めの避難**」だね

大雨による自然災害のほとんどは、**瞬間的に襲ってきます。**
では、次に私たちの命を守るためにはどうしたら良いのか、考えてみましょう